PART3 イスラーム諸国の民族運動

Chapter1　トルコ革命

目標
トルコ革命の一番のキーワードをおさえよう。
第一次世界大戦後の不平等条約の改正について知ろう。

1　オスマン帝国の敗戦

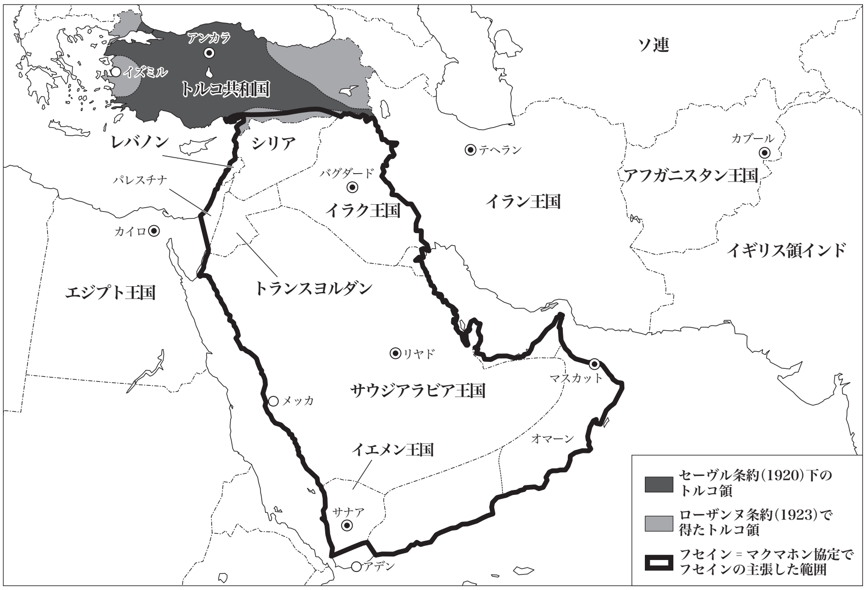
オスマン帝国は，ドイツ・オーストリア・ブルガリアとともに，敗北した同盟国側だった。

①**サイクス = ピコ協定**（1916年）

イギリス・フランス・ロシアが第一次世界大戦後のオスマン帝国領の扱い（パレスチナの国際管理など）を定めた秘密協定。国土分割の危機に直面。

②［　　　　　　　　　］**条約**（1920年）

パリ近郊で締結された，協商国〔連合国〕とオスマン帝国の講和条約。



第一次世界大戦後の西アジア

2 トルコ革命（1919〜23年）

〔　　　　　　　　　　〕の過程で，1300年ごろから続いた**オスマン帝国**が 1922年に滅亡した。

①ギリシア軍によるエーゲ海沿岸地域の占領（1919年）

軍人の**ムスタファ = ケマル**（のちのケマル = アタテュルク）が抵抗運動を主導し，トルコ大国民議会を組織。1922年にはギリシア軍を撃退してイズミルを回復。

※同年にスルタン制，24年にカリフ制も廃止。

②**ローザンヌ条約**（1923年）→セーヴル条約は破棄

連合国との間に新たな国境を定めて不平等条約を撤廃

※治外法権を撤廃し関税自主権を回復した。

③〔　　　　　　〕**共和国**の成立（1923年）→首都アンカラ

ケマル = アタテュルク〔アタテュルク＝父なるトルコ人〕が初代大統領となり，**政教分離**・太陽暦〔グレゴリオ暦〕の採用・女性解放などに加え，アラビア文字に代えて〔　　　　　　〕**字**を採用する「文字改革」も行い，近代化を推進。

※トルコの歴史とトルコ語の教育を通じて**ナショナリズム〔国家主義・民族主義〕**を育成。

④トルコ共和国憲法の制定（1924年）

ケマル = アタテュルク

まとめ

トルコ革命は，ヨーロッパにならった「近代化」を推進した。
セーヴル条約を破棄して結ばれたローザンヌ条約では，治外法権が撤廃され関税自主権を回復した。

Chapter2　他のイスラーム諸国の動向

目標
アラブ諸国が統一できない大きな宗教・宗派上の理由を理解しよう。
現在に至る「パレスチナ問題」の背景を理解しよう。

1　イスラーム諸国の民族運動

①〔　　　　　　　　　　　　〕の独立（1919年）→もと**イギリス**の保護国

第三次アフガン戦争の結果，立憲君主制による完全独立を果たした。

②〔　　　　　　　　〕**王国**の成立（1922年）→もと**イギリス**の保護国

第一次世界大戦後，**ワフド党**を中心に独立運動を展開。

※イギリスが保護権を放棄したが，〔　　　　　　〕**運河**支配などの特権は留保していた。

※ 1936年に同盟条約を締結，エジプトが主権を認められたが，スエズ運河地帯駐屯権は残るなど，完全独立ではなかった。

③**イラン〔ペルシア〕**で**パフレヴィー朝**が成立（1925年）

→大戦中イギリス・ロシアの介入

弱体化していたカージャール朝で，**レザー＝ハーン**（のちレザー＝シャー）がクーデタにより実権を握り，自らシャー〔国王〕を称するが，石油利権は引き続きイギリスが有した。

※国名も他称のペルシアから自称のイランに改め，ナショナリズムを鼓舞。

④〔　　　　　　　　　　　　〕**王国**の成立（1932年）→イギリスの介入

イブン＝サウードがイギリスの援助を得て独立。さらにヒジャーズ王国のフセインを破り，アラビア半島の大部分を統一した。

⑤**イラク王国**が独立（1932年）→もとイギリスの委任統治領

⑥**レバノン**がシリアから分離し独立（1943年）→もとフランスの委任統治領

⑦シリアが独立（1946年）→もとフランスの委任統治領

⑧トランスヨルダンが王国として独立（1946年）→もとイギリスの委任統治領

2　パレスチナ問題の発生

地中海東岸の南部地域である〔　　　　　　　　　　〕地方は，現在に至るまで「**パレスチナ問題**」と呼ばれる民族紛争・宗教紛争が続いている。

※イギリスの「三枚舌外交」の結果，第一次世界大戦後は**イギリスの委任統治領**になったことが契機。

①**フセイン＝マクマホン協定**（1915年）

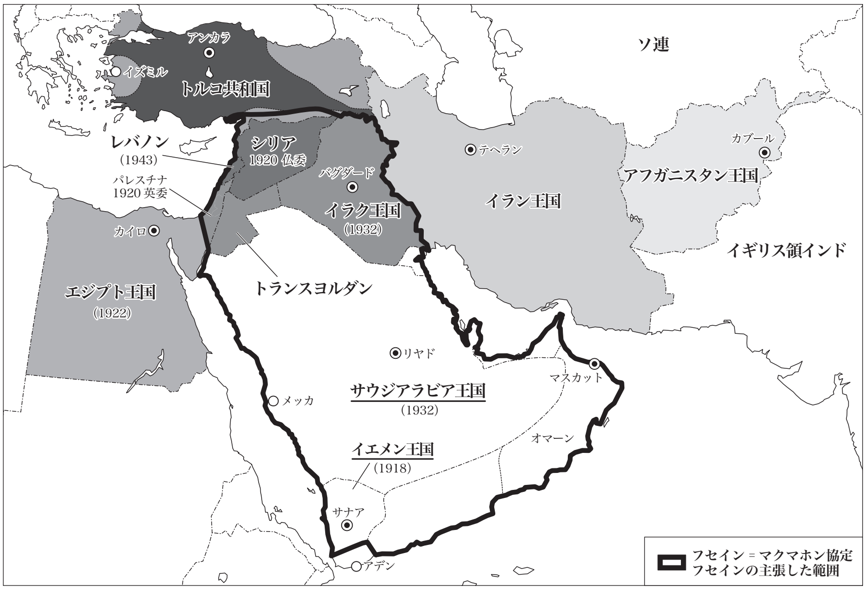
〔　　　　　〕**人**の独立支援を約束。

②サイクス＝ピコ協定（1916年）

パレスチナの国際管理を取り決めた英・仏・露の秘密協定。

③**バルフォア宣言**（1917年）

〔　　　　　〕**人**のパレスチナ復帰運動〔シオニズム〕支援を約束。



第一次世界大戦後の西アジア

まとめ

イスラーム教には反目し合うスンナ派とシーア派があることからも，アラブ人の統一は難しい。

第一次世界大戦期のイギリスの「三枚舌外交」がパレスチナ問題の発端となった。

第 8 講 PART3　確認問題

1 1916年に締結された，第一次世界大戦後のオスマン帝国領の扱いについて定めたものはどれか。

① ロンドン秘密条約　② バルフォア宣言
③ サイクス = ピコ協定　④ フセイン = マクマホン協定

2 1920年に，協商国〔連合国〕とオスマン帝国が結んだ講和条約はどれか。

① セーヴル条約　② トリアノン条約
③ ヌイイ条約　④ ローザンヌ条約

3 1923年に，協商国〔連合国〕とトルコ共和国が結んだ条約はどれか。

① ロカルノ条約　② トルコマンチャーイ条約
③ ローザンヌ条約　④ トリアノン条約

4 トルコ共和国の初代大統領となったのはだれか。

① スカルノ　② ケマル = アタテュルク
③ ネルー　④ ホー = チ = ミン

5 トルコ共和国で実施されたのはどれか。

① 祭政一致の原則　② ナショナリズムの育成
③ 太陰暦の採用　④ アラビア文字の採用

6 もとイギリスの保護国で，ワフド党を中心に独立運動が展開され，1922年に王国が成立した国はどこか。

① サウジアラビア　② レバノン
③ アフガニスタン　④ エジプト

7 クーデタでカージャール朝を倒し，イラン〔ペルシア〕の実権を握ったのはだれか。

① レザー＝ハーン　② ケマル＝アタテュルク
③ イブン＝サウード　④ ホメイニ

8 1932年にサウジアラビア王国を建国し，初代国王となったのはだれか。

① イブン＝サウード　② レザー＝ハーン
③ フセイン　④ ケマル＝アタテュルク

9 もとフランス委任統治領で，1943年にシリアから分離独立した国はどこか。

① イラク王国　② アフガニスタン
③ レバノン　④ トランスヨルダン王国

10 ユダヤ人のパレスチナ復帰運動〔シオニズム〕支援を約束したのはどれか。

① サイクス＝ピコ協定　② フセイン＝マクマホン協定
③ ロンドン秘密条約　④ バルフォア宣言

第 8 講　PART3　確認問題　解答

1 解答：③　サイクス・ピコ協定は，イギリス・フランス・ロシアによって結ばれた。

①：1915 年，オーストリアからの「未回収のイタリア」などの領土譲渡をイタリアに約束した協定。
②：1917 年，イギリスがユダヤ人国家独立に好意的対応を約束したもの。
④：1915 年，イギリスがアラブ人国家の独立を約束した協定。

2 解答：①　セーヴル条約は，オスマン帝国の領土の大半が分割される内容であった。

②：1920年に，協商国〔連合国〕とハンガリー王国が結んだ講和条約。
③：1919年に，協商国〔連合国〕とブルガリアが結んだ講和条約。
④：1923年に，協商国〔連合国〕とトルコ共和国が結んだ講和条約。

3 解答：③　ローザンヌ条約によって新たな国境が定められ，セーヴル条約は破棄された。

①：1925 年に，イギリス・フランス・ドイツなどヨーロッパ 7 カ国が結んだ地域的集団安全保障条約。
②：1828 年に，ロシアがカージャール朝イランに締結させた不平等条約。
④：1920 年に，協商国〔連合国〕とハンガリー王国が結んだ講和条約。

4 解答：②　ケマル＝アタテュルクはもともとオスマン帝国の軍人であった。

①：インドネシアの初代大統領となった。
③：インド共和国の初代首相となった。
④：ベトナム民主共和国の初代大統領となった。

5 解答：②　トルコの歴史とトルコ語の教育を通じてナショナリズム〔国家主義・民族主義〕を育成した。

①：政教分離の原則がとられた。
③：太陽暦〔グレゴリオ暦〕が採用された。
④：アラビア文字に代えてローマ字が採用された。

6 解答：④　エジプト王国は，イギリスが保護権を放棄したことによって成立した。

①：イブン＝サウードがイギリスの援助を得て独立し，1932 年に成立した。
②：もとフランスの委任統治領で，1943 年に独立した。
③：第三次アフガン戦争の結果，1919 年に立憲君主制による完全独立を果たした。

7 解答：①　レザー＝ハーンは，1925 年にパフレヴィー朝を創始した。

②：1923 年にトルコ共和国の初代大統領となった。
③：1932 年にサウジアラビア王国を建国し初代国王となった。
④：1979 年のイラン革命を指導し，イラン＝イスラーム共和国の最高指導者となった。

8 解答：①　イブン＝サウードはイギリスの援助を得て独立を果たし，アラビア半島の大部分を統一した。

②：1925 年に，イラン〔ペルシア〕で，パフレヴィー朝を創始した。
③：ヒジャーズ王国を建国したが，イブン＝サウードに敗れた。
④：1923 年にトルコ共和国の初代大統領となった。

9 **解答：③**　レバノンは，第一次世界大戦後，オスマン帝国の支配から解放されたが，セーヴル条約でフランスの委任統治領のシリアの一部とされた。

①：もとイギリスの委任統治領で，1932 年に独立した。
②：もとイギリスの保護国で，1919 年に独立した。
④：もとイギリスの委任統治領で，1946 年に独立した。

10 **解答：④**　バルフォア宣言は，イギリスがユダヤ人国家独立に好意的対応を約束したもの。

①：イギリス・フランス・ロシアがパレスチナの国際管理などを取り決めた協定。
②：イギリスがアラブ人の独立支援を約束した協定。
③：イギリス・フランス・ロシアがイタリアに領土譲渡を約束した協定。